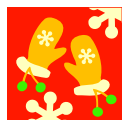




たんぽぽ

第40号改訂版 三州病院広報誌 2010年12月号



緩和ケア週間

10月初旬の1週間(4日～10日)は、皆さんに緩和ケアを知ってもらうための緩和ケア週間でした。

当院でも、10月5日にボランティアの方々の協力の下、さくらホールにてお茶会を行いました。お茶会には患者様・ご家族をはじめ、ボランティアの方やスタッフと、多くの参加がありました。

患者様やご家族から、「あんなに元気な人がいるんだね」、「あんなに頑張ってる人がいるんだね」などの言葉が聞かれました。何か心に抱く想いがあったようです。「緩和ケアとは何か？」

と言われたら、私も一言では答えることができません。その意味を色々な経験を通して私なりの答えを導いていけたらと思う緩和ケア週間となりました。今回、お茶会を行うにあたり、ご協力頂きました関係者の皆さん、ありがとうございました。



緩和ケア病棟看護師: 田中 比香理



三味線演奏会

10月22日、緩和ケア病棟に天地心絃流会(てんちしんげんりゅうかい)津軽三味線静宝会の方が5名慰問に来訪されました。

患者様10名とご家族12名、スタッフの見守る中、三味線に唄、舞踊まで数多くの曲目の披露やご家族の琴の音色にさくらホールが包まれた至福の時間でした。

演奏会を聴かれた患者様やご家族より「懐かしい曲を聴くことができ良かった」「昔、踊りを踊っていたから三味線を聴いたら踊りたくなった」と涙を流されながら話されていました。

私達スタッフも患者様、ご家族の心温まるお言葉や演奏会の音色に心休まる時間を過ごす事ができました。津軽三味線静宝会の皆さん、琴を演奏して頂いたご家族の方、本当にありがとうございました。



緩和ケア病棟主任: 池添 キヨミ

ボーリング大会

10月16日に三州病院ボーリング大会が開催されました。各部署から集まったスタッフの方々とチームを作り、優勝を目指し一致団結してボールを投げました。

あちらこちらから歓声があがり、楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。

個人優勝者には折りたたみ自転車、団体優勝者にはデジタルフォトフレーム、その他順位に応じて腕時計やアロマグッズなど豪華賞品が用意されていました。私は成績が悪く残念ながらビリから2番目で、ブービー賞のかぼちゃを頂き、自宅で美味しく頂きました。来年こそは優勝を目指して頑張りたいと思います。

ボーリング大会後、場所を移しての慰労会では、おいしい料理と余興で盛り上がり、とても楽しい時間を過ごすことができました。

外来看護師：前田 哲



急性期病棟の取り組み

急性期病棟では、患者様に安全で確実な看護を提供するために、常に『基本』を大事に看護業務が行えるように朝のカンファレンスで5分間の勉強会を行っています。

テーマは基礎看護技術を中心に担当者が作成した看護基準・手順に沿って行っています。また、委員会のメンバーが看護記録のことや栄養管理についても勉強会を行っており、より知識を深め、意見交換できる時間になっています。

今後も看護業務に生かせるよう勉強会を継続して取り組んでいこうと思います。



急性期病棟 看護主任：胡摩窪 幸恵



緩和ケア病棟 遺族会

11月13日に緩和ケア病棟さくらホールにて遺族会が行われました。

私は初めて参加しましたが、とても素晴らしい会でした。患者様に対する想いを、ご家族・スタッフが語り合い、涙を流される方、笑顔が見られる方、それぞれの想いの詰まった、とても良い時間を過ごすことができました。

遺族会の中で、患者様を支えてこられたご家族の様々な想いを知ることができました。その想いを今後に活かし、より良いケアが提供できるようにしていきます。

緩和ケア病棟看護師：泉 杏衣



石垣教授の講話を聞いて…

11月11日、北海道医療大学大学院教授である、石垣靖子先生が来院されました。慈愛に満ちた優しい雰囲気です。

私達看護師に伝えたい事として、「宮崎は自然や文化、人、全てが優しく癒しの地であり、宮崎をホスピスにという志に感動している」という事、「看護師を通して出会ったケアの瞬間(真実の瞬間)を積み重ねていく事が自分の成長にもつながる」など、看護のすばらしさ、続けていく事の大切さを伝えて下さいました。

言葉の一つ一つが重く心に響き励まされ、改めて、命に対する姿勢、看護の原点を確認し合い、学び、大切にしていきたいと思いました。



緩和ケア病棟看護師：芳野 眞弓



外来からのお知らせ

外来に新しく車椅子を1台購入しました。酸素ボンベ利用の方でも使用できるタイプです。ご利用の際には受付にお声掛けください。

外来看護師長：西俣 里子



インフルエンザワクチン接種

今季の新型インフルエンザワクチンは、従来の季節性インフルエンザを含んだワクチンとなっており、10月1日から実施されています。また、当院では10歳以上が対象となっております。

<費用> 都城市・三股町にお住まいの方

対象者	1回目	2回目
13歳未満	3600円	1550円
13歳以上～64歳未満	3600円	—
65歳以上	1200円	—
生活保護・非課税世帯	無料 ※証明書類が必要です。	

※都城市・三股町以外にお住まいの方は料金が異なる場合がございますので、ご希望の方は窓口にてお尋ねください。

感染対策委員会: 西俣 里子



三股町人間ドックを受ける方へ

三股町の健康増進事業として三股町にお住まいの方を対象に人間ドックが始まりました。

三股町役場へお申し込みをされ、受診券をお持ちの30歳・35歳・40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳の方が対象となります。

当院を受診される方は電話または一度来院され、事前の予約をお願いしています。電話で予約をされた方は、前日までに大腸検査の容器を取りに来てください。

ご質問等ございましたら、三股町役場町民保健課健康推進係、または当院受付でご相談下さい。

人間ドック委員会: 今村 美春

編集後記

2010年も残すところあと一月となりました。年末年始は人がたくさん集まる事が多いと思います。良い年が迎えられるよう、体調管理に気を付けましょう。当院でも随時、インフルエンザの予防接種を行っています。早めの対策をとって元気に冬を乗り越えましょう。



(財) 日本医療機能評価機構 Ver.5 認定施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設

(医) 倫生会 **三州病院**

消化器病センター

住 所: 宮崎県都城市花繰町3街区14号
TEL: (0986) 22-0230 FAX: (0986) 22-0309
Eメール: sanshu2@mx71.tiki.ne.jp
ホームページ: <http://www.sanshu.org>
ホームページ・広報誌委員会責任者: 友重 雅美

